

長与町図書館友の会「自然観察会」

ニュースレター

NO. 3

平成26年 第3回植物観察会報告

>>>>山川 続

(長与町図書館友の会「自然観察会」代表)

1. 開催日時：平成26年4月27日（日） 9時30分～15時30分

天候：曇り

2. 集合場所：長与駅前ロータリー

3. 観察場所：長崎市飯香浦町・こしき岩公園周辺

4. 観察テーマ：広葉樹林内の植物を観察する。

5. おもな観察内容

(1) はじめに

今日は、長崎市梁川町・浦上川沿いの里桜群を観察する予定であった。しかし、時期的

に少し遅かったのと、昨年と比べ、桜の開花が（写真1）飯香浦遠景（こしき岩・岩場より）早まったため、すでに葉桜になっていた。そこで、場所を決めるため、前日、長崎県民の森へ下見に行った。途中、「ファミリーキャンプ場 やまびこ」があり、夫婦2人で30年近くかけて自然林をきれいな里山に変えられたことを知っていたので、立ち寄ることにした。他の見学者と一緒に園内を案内してもらおうと、清流沿いの遊歩道沿いには、シラユキゲシ、ミヤコワスレ、アヤメ、カラー、ツツジ、エビネ、キンランなど多くの花が咲いていた。そして、名前が分からないということで、見せてもらったのが初めて見たテンナンショウ属だった。葉の形がマムシグサ、キリシマテンナンショウと違い、付属体の先が餅のように丸く膨らんでいた。帰宅して調べると、珍しいユキモチソウだった。また、普通に見るキンカン（写真2）の2倍の大きさの大実キンカン“福寿”もあり、ここで観察会をしようと思ったが、入園料がいるということで断念した。長崎県民の森では、シャクナゲが満開で、とてもきれいだった。しかし、花が咲いている野草が少なかった。そこで、当日、観察場所を参加者と相談して決めることにした。

集合場所にはすでにたくさん集まっていて、10名の参加者で実施することになった。参加者の脚力も考え、琴ノ尾岳の車道沿いと2週間前に別の植物観察会で行った長崎市飯香浦町・こしき岩を候補にあげた。私としては、町内であまり観察されない植物が多いこしき岩がいいかなと思っていた。すると、参加者からこしき岩に行きたいという意見が多く出て、こしき岩に行くことになった。

参加者の1人がキリ（写真2）の花を持っていたので、場所を尋（写真2）キリ（長与町吉無田公園）



ると、長与駅横にある吉無田公園だという。何度も観察会で行く公園なので、キリがあったかなと半信半疑で確認に行くと、うす紫色のゴマノハグサ科独特の花をたくさんつけていた。今までアオギリと思っていた大木で、葉が大きかったのと、今まで花を見ていなかったため誤認していた。幹の下まで葉を茂らせ、このようにきれいな形をしているキリが町内にあるとは驚きである。



(写真3)キリ(長与町吉無田公園)

(2) 観察した主な花

①イワガサ (バラ科 シモツケ属)

岩場にはえ、花序が傘形なのでこの名がある。

本州の近畿地方以西、四国、九州に生育する落葉低木で、山地や海岸の日当たりの良い岩場に生育する。長与町内では、タンタン岩でも見られる。一見すると同属のイブキシモツケに似ているが、イワガサの若枝や葉の裏に毛の無いことから区別できる。



(写真4)イワガサ

こしき岩とタンタン岩の地質に共通することは、火山灰と礫と一緒に固まった凝灰角れき岩であることである。火山灰の部分が柔らかいため、根をはることができるのでしょ。また凝灰角礫岩等は、意外に水もちが良いようである。しかし、岩場は水の乏しい場所なので、常緑広葉樹のような艶のある厚めの葉を持つなど乾燥対策にぬかりはないようである。似ている3種の特徴を下表にまとめた。

イワガサ (岩傘)	<ul style="list-style-type: none"> ・葉は互生し、<u>倒卵形</u>。上半部が不揃いに切れ込み、あるいは3裂(ミツデイワガサ)する。
コデマリ (小手鞠)	<ul style="list-style-type: none"> ・葉先は鋭頭で、形は<u>ひし状狭卵形</u>になる。 ・小さな白花が手まりのようにかたまって連なるように咲く。 ※オオデマリ→スイカズラ科で、コデマリとは関係ない。
イブキシモツケ (伊吹下野)	<ul style="list-style-type: none"> ・石灰岩地域にもよく見られる。 ・葉は<u>より幅が広く</u>、茎はあまり立ち上がりせず、垂れ下がる。葉脈は裏面で隆起し、毛を密生する。 ※シモツケ→コデマリのように、沢山の赤い小花を丸くつける。

②アルビノの植物

植物のアルビノは、光合成色素(クロロフィル)を合成できない突然変異個体のことをさすこのような個体は自分で栄養を作れないため、種子中の栄養を使い切ってしまった時点で枯死することになる。

しかし、両方とも大きく生長している

るので、土中の栄養が豊富なのだろ (写真5) 材バトボソウ

う。特にキンランは、花を咲かせるまで

(写真6) キンラン

生長している。だが、周囲に生えている普通のキンランに比べると、全体が小さい。



※キンラン→花は黄色。 ※ギンラン→花は白色。

③マルバウツギ（ユキノシタ科 ウツギ属）

ウツギ“空木”の名のとおり、茎の髄は中空である。

毎年、この時期になると、悩ませる植物である。マルバウツギに似たツクシウツギとの違いがはっきり理解できないからである。雄しべの花糸の翼や葉の表面にある星状毛の形がちがうといわれるがよくわからない。



（写真7）マルバウツギの花と花糸の翼

マルバウツギの花糸の翼は、上方にいくにつれ細くなるようだが、私が見たマルバウツギにはほぼ四角（90度）が混じる（写真7参照）ことがあるので、花糸の翼だけでは区別できないと思った。ツクシウツギの特徴として、花序軸と花筒に開出毛を密生するようだが、マルバウツギにも開出毛があり、開出毛の量の違いがわからない。やはり、専門家に、ツクシウツギの実物を教えていただくしかない。

マルバウツギに似た仲間の特徴を下表にまとめた。

マルバウツギ	<ul style="list-style-type: none"> ・葉が太く丸い。 ・雄しべの花糸の翼は肩になって角がとれ、丸みを帯びる。しかし、ほぼ四角（90度）が混じることがある。 ・若い枝は褐色を帯びており、毛も生えている。
ツクシウツギ	<ul style="list-style-type: none"> ・母種のマルバウツギに似ているが、葉がやや細長く、先端が尖り、<u>花序軸と花筒に開出毛を密生</u>する。
ウツギ	<ul style="list-style-type: none"> ・雄しべの花糸の翼はほぼ四角（90度） ・若い枝は褐色を帯びており、毛も生えている。
ヒメウツギ	<ul style="list-style-type: none"> ・雄しべの花糸の翼はツノのように突き出す。 ・若い枝は緑色で無毛である。
ウラジロウツギ	<ul style="list-style-type: none"> ・葉の裏が白い。雄しべの花糸の翼はほぼ四角（90度）
バイカウツギ	<ul style="list-style-type: none"> ・花弁は4枚。アジサイ科バイカウツギ属

④コガクウツギ（ユキノシタ科 アジサイ属）

名の由来は、木の雰囲気が出ツギに似ていて、ガクウツギよりも花が小さいことによる。

花びらのように見えるのは装飾花の萼である。装飾花の中心には、退化しているものの5（～3）枚の花弁があり、雄しべや雌しべもあるが、結実しない。種子を形成する普通花（両性花）は、5枚の長さ3mmほどの花弁を持つ。色は淡黄緑色ですぐに脱落してしまう。雌しべの柱頭は2～3に分かれている。



（写真8）コガクウツギ

※両性花→一つの花に雄しべと雌しべをもつ花。⇔単性花（雌雄異花）

若い枝は黒紫色を帯び、葉はつやがある。材は小細工用、揚枝とする。内樹皮から和紙に使う糊をとる。コガクウツギとヤマアジサイの自然雑種がいくつか知られている。「瀬戸の月」や「五家の荘」などの品種は、この自然雑種と考えられている。

※ヤマアジサイ→葉は対生 ※クサアジサイ→葉は互生

⑤ツクシキケマン？（ケシ科キケマン属）

種子の並び方を1列と見ると、さく果がくびれているので、ツクシキケマンであるが、並び方が微妙である。



(写真8) 種子の並び方と花

樺島灯台（長崎市野母崎樺島町）で観察したもので、キケマンとしていた。しかし、種子は2列のようだが、さし果は少



し曲がりくねっているので、自信はない。中間的な特徴を示すものが多そうだ。

キケマン	ツクシキケマンの変種。さく果は曲がりくねらず、 種子が2列に並ぶ。
ツクシキケマン	さく果は 数珠状にくびれ 、 種子が1列に並ぶ。
ホザキケマン	1cmに満たない花。さく果は細長くまっすぐで、 種子が2列に並ぶ。
フウロケマン	花は距が長く、よく屈曲する。 種子が1列に並ぶ。
シマキケマン	花は淡黄色で距が短く、蒴果はくびれない（真っ直ぐ）。

※ユキモチソウ（サトイモ科テンナンショウ属）



平成26年4月26日(土)撮影 場所：ファミリーキャンプ場「やまびこ」
 茎葉は2個。仏炎苞は、紫褐色で先の脰部はほぼ垂直に立っている。
 付属体の先が餅のように丸く膨らんでいるのが名前の由来である。

○参考・引用資料

- ・松江の花図鑑
- ・多良岳の生物：長崎県生物学会編
- ・岡山理科大学：植物雑学辞典
- ・ヤマアジサイの仲間達：<http://www37.tok2.com/home/ke01/yamaazisai-p2/kogakuutugi.html>

長与町図書館友の会「自然観察会」 ニュースレター NO. 3

発行日：2014年5月11日

編集：山川 続

メール：yamagawa1957@yahoo.co.jp

<http://www005.upp.so-net.ne.jp/yamagawa/syokubutsu-kansatsukai-annai.html>

発行者：長与町図書館友の会「自然観察会」